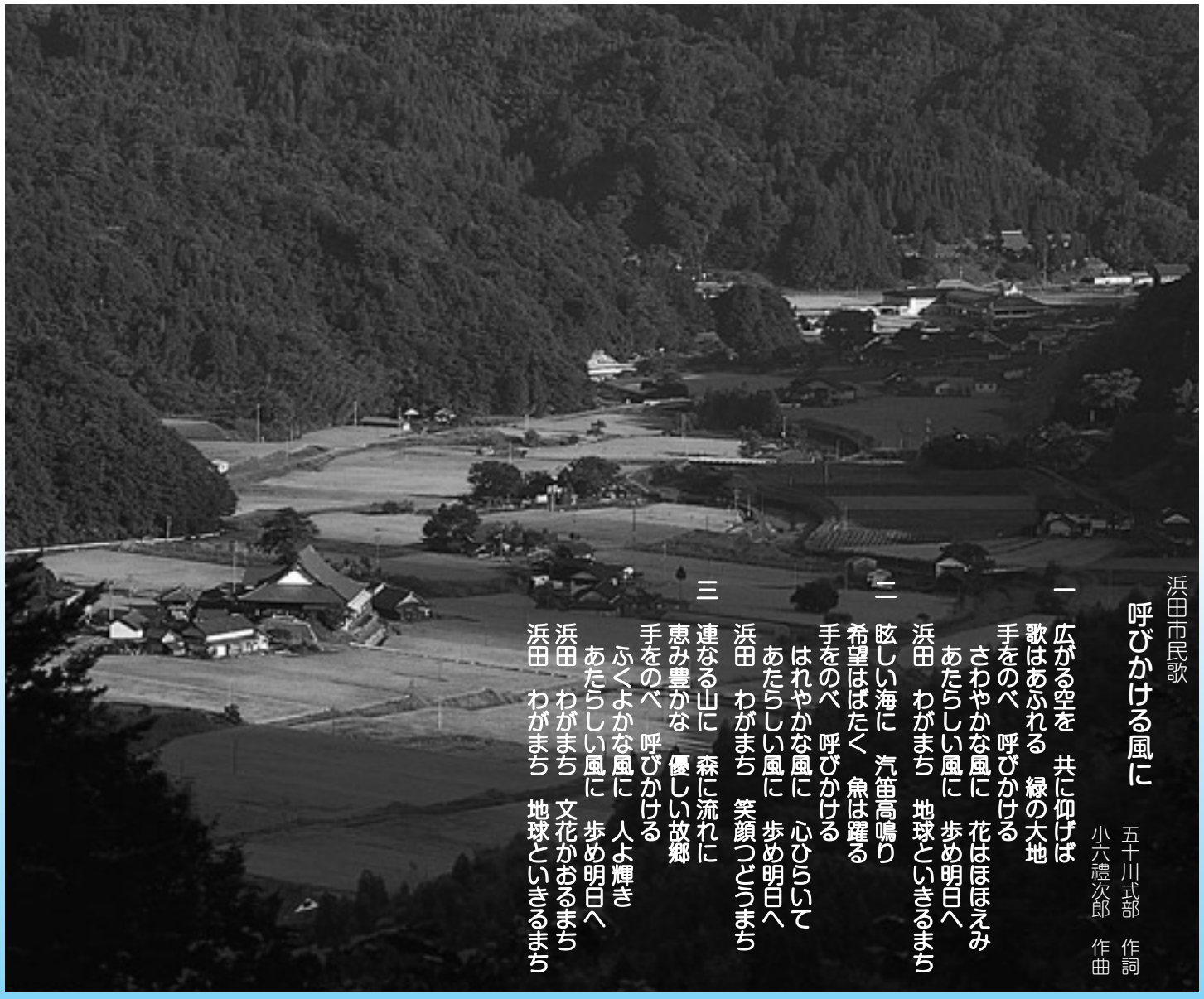
はまだ 市議会だより

Vol.11
2008年（平成20年）8月1日発行



浜田の四季景観100選から「山里の朝」 金城町波佐　中　保広氏　撮影

平成20年6月定例議会

議会のあらまし …… P 2
一般質問 …… P 3
視察報告 …… P 7
議会のうごき …… P 8

発行：浜田市議会　編集：議会広報広聴調査特別委員会　〒697-8501　島根県浜田市殿町1番地　TEL (0855)22-2612　FAX (0855)22-6765

平成20年 六月定例議会

平成20年6月浜田市議会定例会は、6月9日に招集され、6月25日までの17日間の会期で開かれました。市長から提出された都市宣言の制定1件、条例関係6件、予算関係1件、市道路線の認定1件、専決処分の承認10件、請願2件の案件について審査を行いました。議会運営委員会から条例関係1件を提出しました。

本会議で審議された主な議案の内容

〔都市宣言の制定〕

▼ 浜田市人権尊重都市宣言の制定について

世界人権宣言60周年及び本年10月の「島根あさひ社会復帰促進センター」の開所を契機とし、人権の大切さを再認識するため都市宣言を制定するものです。

審査の結果、全会一致で可決しました。

〔条例関係〕

▼ 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について

住民基本台帳カードの更なる普及と、今年度導入予定の証明書自動交付機の稼働率アップを図るため、特例として当分の間、カードの交付手数料を無料とする改正を行うものです。

審査の結果、全会一致で可決しました。

▼ 浜田市金城デイサービス条例を廃止する条例について

今福及び波佐のデイサービスセンターは、利用者数の低迷により平成17年3月をもって事業を休止しているが、今後も直営又は指定管理者制度による効率的な事業運営が見込めない状況にあることからこれを廃止するものです。

条例廃止について、反対討論と賛成討論を行い審査の結果、賛成多数で可決しました。

〔予算関係〕

▼ 平成20年度、浜田市一般会計補正予算（第2号）

補正予算は、国県補助事業で追加や変更を要する事業及び当初予算編成後に新たに生じた経費等について調整するもので、歳入歳出それぞれ3億4126万7千円を増額するものです。

補正項目で質疑が集中した事業は、総務費の波佐・小国地域コミュニティ活性化事業、商工費の島根あさひ社会復帰促進センター環境整備支援事業、教育費のスクールソーシャルワーカー活用事業と学校支援地域本部事業でした。

審査の結果、全会一致で可決しました。

〔請願の審査結果〕

▼ 自主共済制度を保険業法の適用から除外するよう求める意見書提出に関する請願

団体構成員の相互扶助を目的として、自主的かつ健全に運営されている自主共済制度を、保険業法の適用から除外するよう求める意見書を、政府並びに関係機関に提出を求めるもので、賛成小数で不採択となりました。

〔議会運営委員会提出〕

▼ 浜田市議会議員政治倫理条例の制定について

議会改革の一環として、議員が政治倫理の確立と向上に努め、常に良心に従い誠実かつ公正にその職務を行うことを促し、清浄で開かれた民主的な市政の発展に寄与することを目的に条例を制定するものです。

議員の政治倫理に関する規律の基本となる事項を定めるもので、

① 議員の責務
② 政治倫理基準の遵守
③ 審査請求
④ 審査会の設置
⑤ 政治倫理基準違反に対する措置
⑥ 審査結果の尊重

等から構成されています。

審査の結果、全会一致で可決しました。

◎全国市議会議長会並びに、中国市議会議長会の定期総会において議員表彰が行われました。

被表彰者は次のとおりです。

○全国市議会議長会

・正副議長4年以上
美浦義樹（弥栄町木都賀）

・議員25年以上
高見庄平（長浜町）

○中国市議会議長会

・正副議長6年以上
美浦義樹（弥栄町木都賀）

一般質問

16人の議員が市政を質しました。

子供図書環境について

三浦保法

質問

三隅自治区の読み語りボランティアから「三隅の図書環境を考える会」が立ち上がり、本年3月に市長に対し、子ども図書館建設が必要であるという思いから、三隅図書環境に関する要望書が提出された。その回答書の内容確認も含め市長の所見を伺う。

答弁

地域の熱い思いを尊重し、中期財政計画や、新たに建設する中央図書館としての浜田図書館との整合を図りながら、地域振興基金を活用し早期実現に向け取り組みたい。

建設場所は小中学校や美術館など教育文化施設が集積する場所が理想であり、建設時期についてはできるだけ早いほうが良いと考える。

その他の質問
①学校図書費について
②指定文化財の保護について

ガソリン高騰による地域経済と行政運営への影響

川神裕司

質問

① 燃油高騰は、市民生活に多大な影響を及ぼしている。まさにこれは「経済災害」と思うが認識はどうか。

② 燃油高騰は行政運営にも影響していると考えるが、今後、優先順位の低い施策の凍結や国保料、市税等の減免により市民負担軽減に努める考えはないか、緊急対策に関して聞きたい。

答弁

① 穀物価格の上昇等も加わり、生活を圧迫していると認識している。まさに災害という視点で、緊急対策を打つ必要があると考えている。

② 原油高騰は行政コストを上昇させるため、さらなる行革を迫られたことになる。施策の見直しを図りたいが、市民生活への影響は極力抑制するという視点が重要と認識している。

こんな事業を可決しました。

●波佐・小国地域コミュニティ活性化事業

事業費　4,390千円

波佐地区と小国地区で、現在活動している各種団体のネットワーク体制構築のため、地域マネージャーを中心とする「地域プロジェクト委員会」を置き、農産物の効率的流通の充実、地域住民の生活支援などの地域運営を行う事業。

●スクールソーシャルワーカー活用事業

事業費　3,300千円

児童生徒の問題行動やいじめ、不登校の背景には、家庭や友人関係など様々な環境の問題が複雑に絡み合っており、スクールソーシャルワーカーの活用を通して、問題解決を図ろうとする事業。

●学校支援地域本部事業

事業費　9,272千円

各中学校区を地域と設定し、公民館を中心とした支援ボランティアを育成、公民館で連絡調整できるよう情報を整理、データ化しようとする事業。

大規模地震対策について

三浦一雄

質問

昭和56年、建築基準法が改正され、学校施設は震度6強の地震に耐えられるように施設改修が求められている。

基準法が改正される以前に建築された小中学校は、木造校舎11校・鉄筋校舎12校あり、このたびの中国四川省大地震での学校崩壊報道を見れば、保護者の不安は募るだけ、浜田市の現状認識を伺う。

答弁

国においては、中国四川省の大地震を受け、全国の公立学校施設の耐震化を加速させるため、財政支援策を今国会で法案成立をめざしている。

浜田市においては、小中学校の老朽化が進行していると認識しており、平成19年度までに耐震化に伴う優先度調査を実施している。今後は、本年度から耐震化計画を策定し、平成21年度から耐震診断や補強工事を実施する。

学校耐震化と避難所機能の充実について

木村正行

質問

中国大地震は、学校耐震化の遅れに警鐘を鳴らした。

① 浜田市の学校耐震化の現状と今後の取り組みを問う。

② 国や県に比べて市の耐震化率は10％以上遅れている。国は2年前倒しの促進方針だが、市の計画見直しを問う。

③ 防災マップの避難所施設の耐震性と洋式トイレ、テレビ、電話線等の配備を問う。

答弁

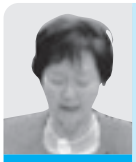
① 震度6強に耐えられ耐震性があるもの37棟45・1％ないもの45棟54・9％。早急な耐震診断が必要なもの24棟。平成21年度から診断し24年度には工事完了したい。

② 児童の安全を最優先し国に遅れることなく取り組む。

③ 避難所は351施設あり耐震性や機能充実も考慮して検討会を立上げ見直したい。

その他の質問
採血器具使回し問題について

ふるさと納税制度の取り組みについて



三浦美穂

質問

出身地などの自治体に寄付した金額に応じて、個人住民税が特例控除される。この制度は、その自治体の魅力、将来性を示す指標の一つともいわれる。浜田市を積極的にアピールしふるさとを応援して頂くよう取り組む必要があると考えるが所見を問う。

答弁

浜田市をアピールする方法として、寄付を募る政策メニューで「どんちっち推進事業」「石州浜田城整備事業」など浜田出身者の皆さんの興味と郷愁を誘うようなユニークな命名をして取り組んでいる。全国から夏に帰省される方々や、何より市民の皆さんの理解を頂くために、全力をあげて対応して行きたい。

その他の質問
①温暖化対策について
②介護支援ボランティア制度について

浜田川総合開発事業の早期完成について

下隅義征

質問

当初計画より遅れているが、現状での完成予定を問う。

答弁

当初計画は平成23年度であったが、県の財政事情等により、現在では平成28年度の完成予定である。ダム本体のコンクリート打設は、2年早く完了予定である。今後も早期完成を目指し、皆様方のご協力を得ながら要望活動を行う。

介護保険の現状について

質問

介護保険の現状と介護予防費の末端への支給について問う。

答弁

2億6千万円の返済が、今年度で完了する。総予算の3％以内の介護予防費のサロン活動等への支給は、現状においては明確な回答は出来ない。広域行政組合と連携し、予算を有効に活用して予防効果を上げるよう努める。

市民の現状に即した行政施策について

江角敏和

質問

① 市民の現状・統計数値を行政施策へ活かせているか。

② 経済指標等を今後、総合的に把握する考えはあるか。

③ 厳しい市民の現状下、緊急的な施策を実施する考えは。

④ 減免等の制度を総合的に把握し、市民へ周知する考えは。

答弁

①② 施策に活かすための各数値の把握分析に努めたい。

③ 必要な時期を判断し、市民への衝撃を和らげるために緊急的な施策を実施したい。

④ 現在、各担当課で把握している。今後、総合的な把握、集約により、さらに各窓口や市民へ周知徹底し、少しでも負担軽減に努めていきたい。

その他の質問
①パブリックコメント手続き条例の制定について
※パブリックコメント：意見公募
②NHKの受信料等について
③新市の花等の選定について

産業振興と人材確保の取り組みについて

佐々木豊治

質問

高校新卒者の県内就職率は、県内でも東部と西部では約2倍の開きがあり、西部においては、約3割しか地元企業への就職ができない現状にある。企業数や求人が少ない事情もあると思うが、地元企業を生徒や保護者に直接知っていただく取り組みや、求人をもっと早く出していただけるよう、行政主導で人材確保に取り組む必要があると思うが、所見を伺う。

答弁

「浜田・江津地区雇用推進協議会」において、生徒・保護者を対象とした説明会の実施等内容を検討していく。また、地元企業の求人が遅いことは、学校側からいつも出ている話でもあるので、新卒者の求人確保も含め、企業へ要望していく。

その他の質問
教育行政について

浜田の四季景観100選から「浜田商港」熱田町　鮎川義英氏　撮影

学校統合問題について

山田義喜

質問

① 小中学校の適正規模と適正配置について、審議会から答申が得られたが、その内容について問う。

② 学校統合に対する教育委員会の基本方針と、今後のすすめ方について問う。

答弁

① 適正規模については、極少人数学級の解消を図ることが望ましい。

適正配置については、浜田東中学校の近隣地に統合校舎を新築して、上府小・国府小・有福小・宇野小の4校が統合することが望ましい。

後野小・佐野小は石見小へ統合、井野小と井野室谷分校は三隅小への統合が望ましいとの答申である。

② 審議会の答申は、基本的には尊重すべきものと考えるが、保護者や地域の皆さんの意見を伺う中で、最終的な統合計画を決定したい。

固定資産税について

平石誠

質問

① 固定資産税評価額に疑義があるとして税務課で協議した結果、評価額が格段に下がった事例があったが、評価の現状について問う。

② 適正公平な課税実施のため、地籍調査を早期に完了すべきと考えるが認識を問う。

③ 固定資産税対象の国民健康保険料や介護保険料の資産割の廃止について認識を問う。

答弁

① 地籍調査未実施地区においては、公図や住宅地図と現地調査で、適正な課税に努めている。

② 国、県の事業を活用し、ミニ国調を実施しながら、地籍調査の早期完了を目指す。

③ 後期高齢者医療保険料には、資産割がないことや、廃止する市町村もあることから、国民健康保険運営協議会において資産割のあり方を検討していく。

福祉医療費助成制度の経過措置延長について

西村健

質問

現在、福祉医療費助成制度において、地方税法の改正により所得区分が低所得から一般に移行する場合でも、改正がなかったものとみなして従来の所得区分をそのまま適用する措置がとられているが、9月末までの経過措置である。

昨年の12月議会では、対象者は181人、経過措置の延長については、県の動向を見極めながら検討したいとの答弁だったが、10月以降どうするのか問う。

答弁

県は、予定通り9月末で経過措置を終了する意向と聞いているが、現在、市民生活は、諸物価の高騰や各種負担増で圧迫されており、福祉医療受給者は、不安な毎日を送っておられるものと推察し、市独自の取り組みとして、経過措置を1年間延長する方向で準備を進めている。

田舎ツーリズムの推進とふるさと納税について

西田清久（にしたきよひさ）

質問

① 子ども農山漁村交流プロジェクトの受入体制、推進体制の取り組みについて問う。

② 将来、浜田市の小学生のプロジェクト参加について教育委員会の所見を問う。

③ ツーリズムの推進には専任係と専門職員の配置、育成を望むが、市の考えを問う。

④ ふるさと納税、寄附をまちづくり団体等へ補助する制度について問う。

答弁

① 今年度、広島県の小学生20数名受入計画があり、将来的に体験型修学旅行の誘致も目指し、ツーリズム実践者に広く呼びかけ整備に取り組む。

② 定まった授業時数の中、国の状況を見て進める。

③ 今年度新設の観光振興課が事業を推進する。専門職員配置は検討課題とする。

④ 現在では市民協働活性化支援事業等により対応する。

認定こども園について

新田勝己（しんたかつみ）

質問

山陰初の「認定こども園」が島根あさひ社会復帰促進センターで計画されている。

① 認定こども園の概要は？

② 入園時の条件を問う。

③ 教育、保育のカリキュラムの設定を問う。

答弁

① 保育所型として運営し、定員は、保育所45名、幼稚園15名を予定している。

② 保育者の就労の有無に関係なく受け入れ可能。保育所は、0才児から受け入れる。

③ 「幼稚園教育要領」及び「保育所保育指針」により一体的な提供となる。3～5才児は午前中は幼児教育となる。

その他の質問

① イチジク栽培とブランド化について

② 中山間地域から新たな「郷」の時代を創る全国フォーラム開催と地域活性化について

市民と行政との協働について

道下文男（みちしたふみお）

質問

① 子供達の学力低下を危惧する。地域ぐるみで学校運営に携わる等、学校教育への斬新な取り組みについて問う。

② 食の安全、原油の高騰、バイオマス燃料等で、一次産業の見直しが議論されているが、浜田市の施策を問う。

答弁

① 地域ぐるみでの学校運営には多くの課題がある。まず、学校支援という国の受託事業により、より充実した学校への地域支援体制を構築したい。

② 一次産業の振興は重要課題と認識している。ブランド化や地産地消の取り組みはもとより、農業では法人化の推奨、林業では経営規模の強化、漁業では水産業改革計画の策定や燃油高騰対策など、生産者と協働・連携して取り組む。

その他の質問

① 行政サービスについて

② 地域づくりについて

国民健康保険料の値下げとレジ袋の有料化

渋谷幹雄（しぶたにみきお）

質問

出雲市の国保料は、今年から資産割を廃止、所得割中心にし、基金を取崩して実質的な値下げをした、と聞く。何故、浜田市も、出雲市のように、固定資産税額の30％を徴収している資産割を廃止し、21億円の基金を取崩して、国保料を値下げしないのか。

答弁

資産割については、今年度中に一定の方向性を出したい。

質問

浜田市も市民と企業の協力を得て、レジ袋の有料化で、マイバッグの持参率向上に取組み、環境先進市に仲間入りすべき時期に来ているのではないか。

答弁

早急に調査し、導入可能な制度かどうか検討したい。

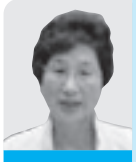
その他の質問

① 独自の農業振興計画の策定

② 西条柿無花果のブランド化

③ 浜田港ビジネスフェア開催

防災ハザードマップについて



鎌原ヤシエ（かまはらやしえ）

質問

土砂災害警戒区域内に災害時避難所があるのは、非常時の際、市民が安心して避難できない。「ハザードマップ」を作成する際に、見直しするとのことであったが、どのように見直されたのか伺う。

答弁

土砂災害警戒区域内に位置する避難所の見直しを含め検討した。その結果、警戒区域内の避難所を一律廃止した場合、半分以上の避難所がなくなる自治区もあり、残してほしいとの要望で、避難所をそのまま指定した。

今後は「広報はまだ」で、どこの避難所が土砂災害警戒区域、浸水想定区域内に位置しているのかを示す中で、災害に応じた避難所が有効に開設できるよう、初動体制の確立に努める。

その他の質問

子育て支援について

視　察　報　告

産業経済委員会

■実施日：５月20日㈫～22日㈭
■視察地：京都府綾部市・舞鶴市・向日市

綾部市で他市の議員と合同で説明を受ける

■ 水源の里の取り組みについて

平成18年４月から、市長が座長となり「水源の里を考える会」が設置され、同年12月定例会で綾部市水源の里条例が可決された。

この条例は、５年間の期限付きとされ、定住対策や都市との交流など、４つの振興目的を掲げている。また、「水源の里連絡協議会」を設置することを規定している。「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の理念のもと、「水の源」は人々の暮らしの原点であると位置付け、地域再生への具体的な取り組みが、動き始めている。他の自治体は有効な対策が打てていないのが、現状である。綾部市のこの条例は、限界集落問題に一石を投じたと注目されている。浜田市は、中山間地域が多く、今回の視察を生かして、中山間地の発展に取り組んでいきたい。

記　委員長　山崎　晃

建設都市委員会

■実施日：５月19日㈪～21日㈬
■視察地：青森県青森市・八戸市

青森市議会　議事堂前で

■ 新しいまちづくりを視察して

浜田市の「新市まちづくり計画」は、生活圏の拡大と住民ニーズの高度化に対応できる一体的なまちづくりを進めるとある。

青森市の「コンパクトシティ」構想は、郊外開発を進めてきた従来の都市政策の反省と除排雪に多額の経費を要する事により、商業、職場、住宅、学校、病院等、様々な機能を都市に集中させるものである。ドーナツ現象や多大な行政投資が必要となる、10年20年先のまちづくりを考えさせられた。

八戸港の「市民ニーズに対応した親水空間」の整備事業は、これまで、産業基盤を優先して進められて来たため、市民を港から遠ざけてきた。市民の海に対する関心も高まり、今後の港づくりに市民と連携した親水空間の整備を行なうもので、海釣り公園、避難緑地、休憩緑地など合計36haで取り組まれている。費用対効果の言葉が頭をよぎるが、参考になる時代が来るかも知れない。

記　委員　新田　勝己

議会広報広聴調査特別委員会

■実施日及び視察地
１月７日　広島県三次市
４月16日　福岡県うきは市
４月17日　福岡県朝暮市

14ページ全てカラー印刷されている福岡県うきは市の「市議会だより」

■「市議会だより」の充実と広聴の仕組みづくりをめざして

私たちの特別委員会の大きな目的は、広報と広聴の充実を通して、公選で選任された議員と、市民の皆さんとの距離を縮め、議員の議会活動をお知らせすると同時に、民主主義の根幹をなす市民の声を汲み取り、市政を発展させることです。

浜田市の市議会だよりは、年４回発行の２色刷り10ページ（12Ｐを２回発行と８Ｐを２回）で年間の経費が予算化されていますので、５人の議員の一般質問を１ページに強引におさめています。

しかし、視察した三市では、一般質問は２人の議員に１ページを割り当て、表紙は４色のフルカラー、ページ数も14Ｐ～16Ｐ構成、見やすさと読みやすさに配慮され写真も多く、内容も豊富で、浜田市議会の議会だよりのオクレを痛感した次第です。まず、「最近の市議会だよりはわかりやすくて、おもしろい」と言っていただけるよう、視察の成果をカタチにして行きたい、と思います。

記　委員長　渋谷　幹雄

〔議長なんでもメール〕
議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。
必ず議長自ら回答させていただきます。（住所・氏名を明記の上、送信ください）
E-mailアドレス：chairman@city.hamada.shimane.jp

議会のうごき

2008（平成20）年4月～6月

4月3日(木)	島根県立大学入学式・大学院入学式（議長）
4日(金)	グループホームせせらぎの郷竣工式（議長） 国民宿舎千畳苑指定管理会社運営開始式
8日(火)	島根あさひ社会復帰促進センター整備運営事業法務省要望（議長） 議会広報広聴調査特別委員会
9日(水)	地域安全推進員委嘱式・表彰式（議長）
10日(木)	島根県市議会議長会総会（正副議長）
14日(月)	議会広報広聴調査特別委員会（正副委員長） 議会運営委員会
16(水)～17日(木)	議会広報広聴調査特別委員会行政視察（福岡県うきは市・朝倉市）
18日(金)	議会広報広聴調査特別委員会 市議会総務文教調査会 浜田港振興会総会（議長）
21(月)～24日(木)	市議会総務文教委員会行政視察（東京都杉並区・岩手県遠野市、滝沢村）
22(火)～23日(水)	中国市議会議長会理事会・総会（議長）
25日(金)	益田市議会から表敬訪問 議会運営委員会
26日(土)	浜田市母子連合会総会（副議長）
30日(水)	市議会予算審査調査会
5月1日(木)	浜田市新交通システム「どんちっちタクシー」出発式
2日(金)	弥栄自治区自治会長来訪 市議会福祉環境調査会 島根あさひ社会復帰促進センター建設促進協議会総会（議長）
8(木)～9日(金)	議会運営委員会行政視察（鳥取県南部町、米子市）
8日(木)	浜田市～津和野町幹線道路整備推進協議会総会（議長） 浜田・益田間高規格道路建設促進期成同盟会総会（議長）
9日(金)	旭町都川処理場通水式
10日(土)	島根総合発展計画に係る地域公聴会 浜田市文化協会総会（議長）
13日(火)	市議会産業経済調査会
13(火)～15日(木)	平成クラブ行政視察（大分県日田市、宇城市）
15日(木)	鹿児島県南九州市議会（総務常任委員会）行政視察来浜
16日(金)	市議会全員協議会
18日(日)	自衛隊父兄会島根県支部連合会総会、式典（議長）
19(月)～21日(水)	市議会建設都市委員会行政視察（青森県青森市、八戸市）
20(火)～23日(金)	全国市議会議長会特定第三種漁港協議会監査会・定期総会（議長）
20(火)～22日(木)	市議会産業経済委員会行政視察（京都府綾部市、舞鶴市、向日市）
22日(木)	石央商工会通常総会（副議長）
24日(土)	北東アジア研究交流懇談の集い（議長） 在京浜田会総会（副議長）
26日(月)	浜田ガス定例役員会（議長）
27(火)～29日(木)	全国市議会議長会（議長）
27日(火)	市議会全員協議会 市議会総務文教委員会
28日(水)	浜田市主要事業の島根県への陳情（副議長）
30日(金)	市議会産業経済調査会 萩・石見空港利用拡大推進協議会総会（議長） 浜田市シルバー人材センター通常総会（副議長）
31日(土)	浜田国際交流協会総会 浜田市保育連盟総会（議長）
6月1日(日)～3日(火)	浜田漁港活用推進事業に伴う誘致活動～青森、札幌（議長）
2日(月)	議会運営委員会
3日(火)	議会広報広聴調査特別委員会 鹿児島県薩摩川内市議会行政視察来浜
4日(水)	市議会福祉環境委員会
5日(木)	市議会請願・陳情・意見書提出〆切 市議会島根あさひ社会復帰促進センター調査特別委員会
8日(日)	関西浜田会総会
9日(月)	6月定例会開会　全員協議会　各常任委員会
10日(火)	本会議個人一般質問
11日(水)	本会議個人一般質問
12日(木)	本会議個人一般質問　議会運営委員会
16(月)～17日(火)	全国水産都市三団体役員会（議長）
16日(月)	本会議　議案質疑　市議会行財政改革調査特別委員会
17日(火)	市議会総務文教委員会
18日(水)	市議会福祉環境委員会
19日(木)	市議会産業経済委員会 島根県西部議員懇話会意見交換会（正副議長）
20日(金)	市議会建設都市委員会
22日(日)	浜田青年会議所創立50周年記念式典（議長）
23日(月)	市議会予算審査委員会
25日(水)	本会議　表決　全員協議会　議会運営委員会　議員政治倫理審査会 社会を明るくする運動総会（議長） 地域医療支援病院諮問委員会（議長）
27日(金)	岡山県浅口市議会（産業建設委員会）行政視察来浜 浜田商工会議所通常議員総会（議長）
30日(月)	浜田市交通安全対策協議会総会（副議長）

（議会広報広聴調査特別委員会）

あとがき

はじめに、中国四川省、岩手・宮城内陸地震により被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

六月定例議会は九日に開会、二十五日までの十七日の会期で開催されました。

三日間にわたる一般質問では、中国四川省での地震により学校が倒壊し、七千人にも及ぶ児童生徒が死亡した惨劇を受け、地域の避難所でもあり、安全・安心であるべき学校の耐震化への対応について6人の議員が質問をしました。明治五年に発生した浜田地震の被害状況を回顧しながら執行部の対応を糾した議員も。

市長から「積極的な対応をする」との前向きな答弁がありました。

議会だよりで一般質問を中心に掲載していますが、これはほんの一端で、丁々発止の議論が展開されています。この度の議会では金城町民生児童委員の皆さんが傍聴されました。緊張が議会活性化に繋がります。多くの方の傍聴をお願いします。

記　田村友行